

タクシーを利用した実証実験について(協議)

ウラ・うららの運行を見据え、地域が抱える交通課題の解決を図るため、タクシーを利用した実証実験を行います。

(1) 目的

バス停まで歩いていけない方やバスに乗り込むことが困難な方などに対して、「う・ら・ら」よりドア to ドアに近い移動手段を提供することで、外出支援の充実を図る(福祉的観点)。

(2) 実証実験の内容(案)

①対象エリア

藤江・生路小学校区と石浜午池地区

当該地域内には、「う・ら・ら」が乗り入れ出来ない狭隘な道が多いことから、モデル地区として選定。

②対象：対象エリアに在住の 65 歳以上の方、福祉的観点から必要と思われる方

③実験期間(予定)

夏～秋ごろの約 2 ヶ月間

④実験内容

実施体制：ウラ・うらら事業(生活支援の充実)を中心に関係者と協力し、実施する。

運行方法：②の対象者からタクシー会社への予約に基づき、①のエリア内において、対象者をタクシーによりドア to ドアで輸送する。

(予約方法は電話や LINE 等を想定)

対象者は、一定額の運賃を負担する。

検証方法：予約状況や実際の利用に基づく OD データを取得するとともに、利用者にはアンケートを行い、(1)目的の検証を行う。

※「交通空白」解消緊急対策事業(国交省)の活用を想定。補助手続きと周知期間を踏まえて実施する。

⑤その他

今回の会議でのご意見等を踏まえ、実施方法等について関係者と詳細協議を行い、6 月ごろ予定の地域公共交通会議において実施内容等を報告する予定。